

2003年3月期

決算概要

2003年5月14日

株式会社プロトコーポレーション

証券コード:4298

連結損益計算書 (1)



前期対比ならびに計画対比

(単位:百万円)

	2002年3月期		2003年3月期				前期対比		計画対比	
	実績(A)	構成比	計画(B)	構成比	実績(C)	構成比	(C)-(A)	%	(C)-(B)	%
売上高	16,515	100.0%	19,180	100.0%	19,217	100.0%	2,702	116.4%	37	100.2%
売上原価	8,138	49.3%	10,069	52.5%	9,863	51.3%	1,724	121.2%	206	98.0%
売上総利益	8,377	50.7%	9,110	47.5%	9,354	48.7%	977	111.7%	244	102.7%
販売費及び一般管理費	6,599	40.0%	8,160	42.5%	8,172	42.5%	1,572	123.8%	11	100.1%
営業利益	1,778	10.8%	950	5.0%	1,182	6.2%	595	66.5%	232	124.5%
経常利益	1,742	10.5%	957	5.0%	1,228	6.4%	513	70.5%	270	128.3%
税引前当期純利益	1,683	10.2%	957	5.0%	1,201	6.3%	481	71.4%	243	125.5%
当期純利益	866	5.2%	471	2.5%	661	3.4%	204	76.4%	190	140.4%

金額は百万円以下を切り捨てて表示しております。

■ 売上高 (前期対比 116.4%、計画対比 100.2%)

前期対比 116.4% (2,702百万円増) の主な要因は、プロトコーポレーションにおける売上増 (2,046百万円) 及び2002年10月に子会社化したリペアテック出版の売上高 (622百万円) がグループ売上高に寄与した事によるものであります。

プロトコーポレーションにおいては、新規媒体の創刊、前期中に創刊した媒体が通期寄与した事が、売上増の要因となっております。

■ 売上原価 (前期対比 121.2%、計画対比 98.0%)

前期対比 121.2% (1,724百万円増) および原価率上昇 (2ポイント増) の主な要因は、プロトコーポレーションにおける新規媒体の創刊によるものであります。

計画対比 98.0% (206百万円減) の主な要因は、プロトコーポレーションにおける仕入コスト削減によるものであります。

■ 販売費及び一般管理費 (前期対比 123.8%、計画対比 100.1%)

前期対比 123.8% (1,572百万円増) の主な要因は、プロトコーポレーションにおける、人員増 (社員数 55名増)、新規媒体の創刊に伴う広告宣伝投資、取次店手数料及び運賃の増加によるものであります。

連結損益計算書 (2)



販売費及び一般管理費の状況

(単位:百万円)

	2002年3月期		2003年3月期				前期対比		計画対比	
	実績(A)	構成比	計画(B)	構成比	実績(C)	構成比	(C)-(A)	%	(C)-(B)	%
売上高	16,515	100.0%	19,180	100.0%	19,217	100.0%	2,702	116.4%	37	100.2%
売上原価	8,138	49.3%	10,069	52.5%	9,863	51.3%	1,724	121.2%	206	98.0%
売上総利益	8,377	50.7%	9,110	47.5%	9,354	48.7%	977	111.7%	244	102.7%
販売費及び一般管理費	6,599	40.0%	8,160	42.5%	8,172	42.5%	1,572	123.8%	11	100.1%
人件費	2,976	18.0%	3,533	18.4%	3,523	18.3%	546	118.4%	10	99.7%
広告宣伝費関連	1,684	10.2%	1,954	10.2%	2,175	11.3%	490	129.1%	221	111.3%
その他経費	1,937	11.7%	2,672	13.9%	2,473	12.9%	535	127.6%	199	92.5%
営業利益	1,778	10.8%	950	5.0%	1,182	6.2%	595	66.5%	232	124.5%
社員数 (3月末)	489	-	642	-	592	-	103	121.1%	50	92.2%
契約社員数 (3月末)	27	-	59	-	56	-	29	207.4%	3	94.9%

金額は百万円以下を切り捨てて表示しております。

■ 人件費 (前期対比 118.4%、計画対比 99.7%)

前期対比 118.4% (546百万円増)の主な要因は、2002年10月に子会社化したリペアテック出版の社員数(49名)が加わった事と、プロトコーポレーションにおける新規媒体の創刊に伴う社員数の増加等によるものであります。

■ 広告宣伝費関連 (前期対比 129.1%、計画対比 111.3%)

前期対比 129.1% (490百万円増)の主な要因は、プロトコーポレーションにおける新規媒体の創刊に伴う広告宣伝投資の増加によるものであります。新規媒体 (Vee School) に要した広告宣伝投資は、広告宣伝費 886百万円、販売促進費 43百万円。

■ その他経費 (前期対比 127.6%、計画対比 92.5%)

リペアテック出版の子会社化に伴い経費が増加した事と、プロトコーポレーションにおける新規媒体の創刊に伴う取次店手数料(105百万円増)および運賃(44百万円増)の増加、有形固定資産取得に伴う費用の発生等により、前期対比 127.6% (535百万円増)となっております。計画対比では、主に、人に関わる経費(採用費、賃借料、旅費交通費等)の抑制により、92.5%となっております。

連結貸借対照表



前期対比

(単位:百万円)

	2002年3月期		2003年3月期		増減	
		構成比		構成比		前期比
流動資産	7,756	58.7%	6,716	46.7%	1,040	86.6%
固定資産	5,453	41.3%	7,668	53.3%	2,215	140.6%
流動負債	5,362	40.6%	5,355	37.2%	7	99.9%
固定負債	681	5.2%	1,428	9.9%	747	209.6%
少数株主持分	51	0.4%	72	0.5%	21	141.8%
株主資本	7,114	53.9%	7,529	52.3%	414	105.8%
総資産	13,209	100.0%	14,385	100.0%	1,175	108.9%

金額は百万円以下を切り捨てて表示しております。

■ 流動資産の減少 (1,040百万円)

主な要因は、現金及び預金の減少 (1,496百万円) によるものであります。これは、プロトコーポレーションにおける、有形固定資産の取得、取引先への支払条件の変更、賞与の支給日変更等が主な要因であります。

■ 固定資産の増加 (2,215百万円)

主な要因は、プロトコーポレーションにおける有形固定資産の取得ならびにリペアテック出版の子会社化によるものであります。

■ 固定負債の増加 (747百万円)

主な要因は、リペアテック出版の子会社化に伴う、長期借入金等の増加によるものであります。

■ 株主資本の増加 (414百万円)

主な要因は、プロトコーポレーションにおける、前期の利益処分によるものであります。

連結キャッシュ・フロー



設備投資及びキャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	2002年3月期	2003年3月期	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	195	260	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	170	1,066	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,676	351	-
現金及び現金同等物の期末残高	4,842	3,163	1,678
設備投資額	127	502	375
減価償却費	151	175	24

連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、3ヶ月以内に償還期限の到来する短期資金からなっております。金額は百万円以下を切り捨てて表示しております。

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

プロトコーポレーションにおける、新規事業投資により税引前当期純利益が減少した事と、取引先への支払条件の変更に伴う仕入債務の減少、賞与支給日変更に伴う未払費用の減少等により、260百万円となっております。

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

プロトコーポレーションにおける、有形固定資産取得による支出ならびにリペアテック出版の子会社化による支出等により、1,066百万円となっております。

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

プロトコーポレーションにおいて、配当金の支払額が増加した事と、子会社における長期借入金の返済による支出等により、351百万円となっております。

販売実績推移 (1)



セグメント別 売上高及び営業利益

(単位:百万円)

	2002年3月期			2003年3月期			増減			
	売上高		営業利益	売上高		営業利益	売上高		営業利益	
		構成比			構成比			前期比		前期比
自動車関連情報	16,122	97.6%	3,454	17,971	93.5%	4,270	1,848	111.5%	816	123.6%
情報登録・掲載料	14,272	86.4%	-	15,650	81.4%	-	1,378	109.7%	-	-
情報提供料	1,850	11.2%	-	2,320	12.1%	-	470	125.4%	-	-
生活関連情報	242	1.5%	82	979	5.1%	1,463	737	404.4%	1,381	-
不動産	131	0.8%	26	178	0.9%	49	46	135.6%	23	185.9%
その他	19	0.1%	4	88	0.5%	11	69	457.2%	16	-
管理部門	-	-	1,615	-	-	1,685	-	-	69	-
合計	16,515	100.0%	1,778	19,217	100.0%	1,182	2,702	116.4%	595	66.5%

情報登録・掲載料 情報誌への広告掲載料、データベースへの登録料等
 情報提供料 情報誌販売、コンテンツ提供料

金額は百万円以下を切り捨てて表示しております。

■ 自動車関連情報

売上高については、プロトコーポレーションにおける、新規媒体 (GodWORLD 北海道 東北版) の創刊、前期中に創刊した媒体 (GooWORLD 関東版、GodWORLD 中国・九州版、GooBike 関東版、GooBike 東海版、GooBike 関西版、GooBike 九州版、GooParts) が通期寄与した事と、リペアテック出版の売上高 (622百万円) が寄与した事等により、情報登録・掲載料 (109.7%)、情報提供料 (125.4%) ともに増加しております。

営業利益についても、前期中に創刊した媒体の収益が当期において通期寄与した結果、前期対比 123.6% (816百万円増) となっております。

■ 生活関連情報

売上高については、プロトコーポレーションにおける、新規媒体 (Vee School 首都圏版、Vee School 東海版、Vee School 関西版) の創刊等により、前期対比 404.4% (737百万円増) となっております。

営業損失については、「Vee School」創刊に伴う先行投資費用ならびに広告宣伝投資により、1,381百万円増となっております。

販売実績推移 (2)



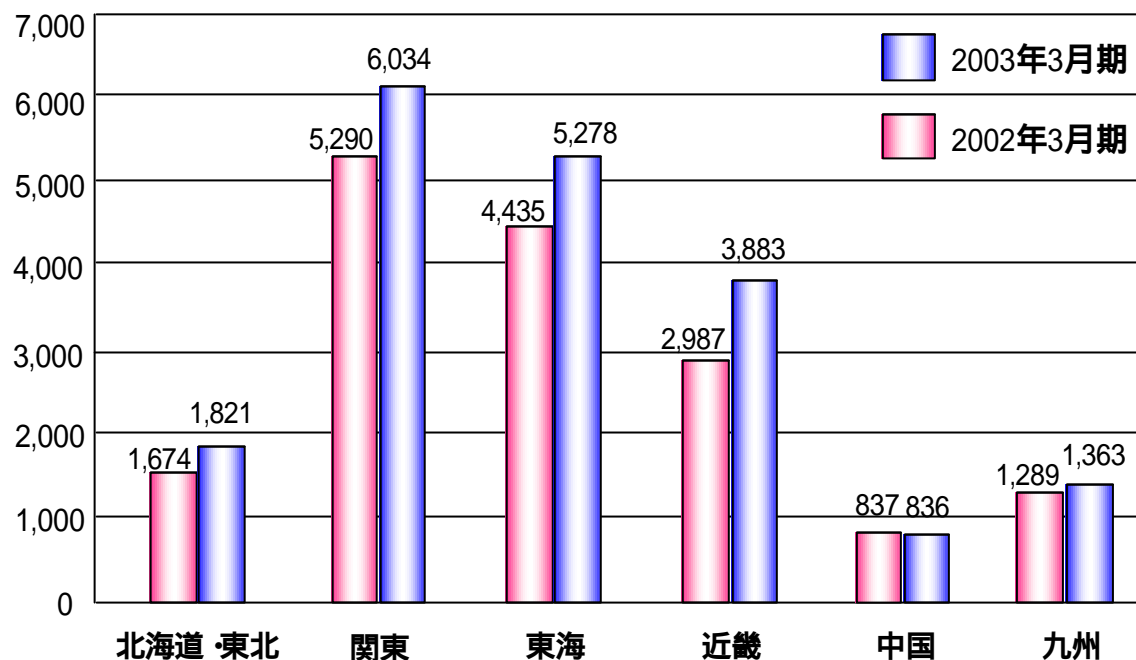
地域別売上高

(単位:百万円)

	2002年3月期		2003年3月期		増減	
		構成比		構成比		前期比
北海道・東北地区	1,674	10.1%	1,821	9.5%	146	108.8%
関東地区	5,290	32.0%	6,034	31.4%	743	114.1%
東海地区	4,435	26.9%	5,278	27.5%	843	119.0%
近畿地区	2,987	18.1%	3,883	20.2%	895	130.0%
中国地区	837	5.1%	836	4.4%	1	99.8%
九州地区	1,289	7.8%	1,363	7.1%	74	105.7%
合計	16,515	100.0%	19,217	100.0%	2,702	116.4%

(単位:百万円)

金額は百万円以下を切り捨てて表示しております。



2003年3月期 創刊媒体

- GooWORLD 北海道・東北版 (2002年7月 創刊)
- VeeSchool 東海版 (2002年8月 創刊)
- VeeSchool 首都圏版 (2003年1月 創刊)
- VeeSchool 関西版 (2003年1月 創刊)

2002年3月期 創刊媒体

- GooWORLD 関東版 (2001年9月 創刊)
- GooWORLD 中国・九州版 (2002年2月 創刊)
- GooBike 関東版 (2001年8月 創刊)
- GooBike 東海版 (2001年8月 創刊)
- GooBike 関西版 (2001年8月 創刊)
- GooBike 九州版 (2001年9月 創刊)
- GooParts (2002年3月 創刊)

2004年3月期 連結業績予想



セグメント別 売上高予想

(単位:百万円)

	2003年3月期		2004年3月期		前期対比	
	実績 (A)	構成比	予想 (B)	構成比	(B) - (A)	%
売上高	19,217	100%	22,400	100%	3,182	116.6%
自動車関連情報	17,971	(93.5%)	18,774	(83.8%)	802	104.5%
生活関連情報	979	(5.1%)	3,246	(14.5%)	2,266	331.4%
不動産	178	(0.9%)	184	(0.8%)	6	103.7%
その他	88	(0.5%)	196	(0.9%)	107	220.4%
営業利益	1,182	6.2%	1,435	6.4%	252	121.4%
当期純利益	661	3.4%	743	3.3%	81	112.3%
社員数 (3月末)	592	-	653	-	61	110.3%
契約社員数 (3月末)	56	-	52	-	-4	92.9%

金額は百万円以下を切り捨てて表示しております。

■ 売上高 (前期対比 116.6%)

自動車関連情報の売上高については、主に、リペアテック出版の売上高が通期寄与する事と、プロトコーポレーションにおける、IT化推進による収益モデルの多様化により 前期対比 104.5% (802百万円増) の18,774百万円を計画しております。

生活関連情報の売上高については、主に、プロトコーポレーションにおける新規媒体 (Vee TRAVEL) の創刊ならびに、前期中に創刊した媒体 (Vee School) の売上高が通期寄与する事等により、前期対比 331.4% (2,266百万円増) の3,246百万円を計画しております。

■ 営業利益 (前期対比 121.4%)

自動車関連情報の営業利益については、前期対比 103.0% (128百万円増) の4,399百万円を計画しておりますが、生活関連情報において、新規媒体 (Vee TRAVEL) の創刊に伴う支出が発生する事等により 全体では、前期対比 121.4% (252百万円増) の1,435百万円を計画しております。

将来予測について

本資料のうち、業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と大きく異なる結果となりうる事を、ご承知おき下さい。

インサイダー取引に関するご注意

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家（第一次情報受領者）は、当該情報が「公表」される前に株式の売買等を行うことが禁じられています。（証券取引法166条）

同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから、周知のために必要な期間として12時間が経過した時点をもって「公表」されたものとみなされます。

問い合わせ先

株式会社プロトコーポレーション 経営企画室

TEL 052-934-1519 FAX 052-934-1750

ホームページアドレス <http://www.proto-g.co.jp>

E mail ir@proto-g.co.jp

担当 / 鈴木・前島